

自分を大切に

伊勢原市立山王中学校

三年

蒲池

麻央

若年性アルツハイマー。私の祖父はこの病
 で十年前に亡くなりました。病名がわかった
 のは七くなる八年前にハツキリわかりました
 。当時も今も病気を治す薬や治療法はありま
 せん。しかし、進行を遅らせる薬はありません
 。薬で遅らせても平均寿命は十から十五年で
 す。病気がわかるのが少し遅かったのかもし

れません。今は医療が発達している中で今で
 も治療法が見つからないというところを知って
 それほど難しい病気だということが変わりま
 した。

病気がわかり病状が進んでも祖母は一人で
 祖父を支え続けていました。周りから施設に
 入ることをすすめてもらわれて考えることもあ
 った。そうでもか、簡単に入ることは出来ず
 そのまま介護を一人で頑張っていたらどう
 でしょう。たまたま、た時には

介護を頑張りが過ぎてしまっただめ祖母自らが
かんになっってしまった。祖母の優しさか
祖母自身の体調を崩す原因となっってしまった。
とても悔しい気持ちになりました。祖母も頑
張って闘病しました。祖父が亡くなっただから
二年後に亡くなっしまいました。私はその
ときの悲しさを今でも忘れられません。
私は今の施設の現状を調べてみました。高
齢者数の増加が進む中で、介護施設が
増加しているようです。介護する主な原因は
居室やベッドの空きがあっても受け入れられ
ない施設が多く存在していることか
らわかりました。今の現状が変わらなければ祖
母のように頑張ってしまう。結果、自分まで
も体調を崩してしまうということが増えるこ
とになっってしまうと思います。今、必要なの
は頼ることの出来る介護施設と介護士が増え
ることだと思います。

祖父の死と日常生活を通して私は、好きだ

ことが出来る人がいるのではないかと考えた
ました。祖母は祖父の世話で自分の時間をと
ることが出来なかったり、行きたいと思うと
ころにもなかなか手が離すことが出来なかつ
たりしたのではないかと思っています。今の現状
を考えると施設に入ることを望んでいて入れ
るのを待っていている人がたくさんいると思いま
す。これからもうと介護施設を使う人が増え
ると思います。なので介護施設が充実すれば
明るい福祉が見えてくるんじゃないかと思いま
しました。

私は時々、祖父と祖母のことを思い出して
介護施設で働いていたらどんな感じだったか
うと考えることがあります。私が働いたら困
っている人、無理をしすぎてしまっている人
が少しでも助けられるかもしれないと考えた
とき介護施設で働くのもよいかなと思います
。祖父と祖母が病と戦かっているときは私は
まだ幼稚園児だったので今の自分に出来るこ
とがわからずに泣くことしか出来なかつたけ

れど、今は考えて人の役に立つことか出来る
ことは何かと考えることか出来るようになり
ました。私は生きているうちに介護でなく
も人の役に立てる仕事につきたいと思うこと
が最近はやいです。

私は出来ることをやって少しでも人の負担
を減らせたらいいなと思います。誰かのた
めに自分が頑張ることでも明るい福祉につなげ
られたらいいなと思います。なので無理をし
すぎずしてまっでいる人に私が少しでも手を差
し延べられたらいいなと思います。